

コマンドプロンプトで処理を実行する方法は、エンジニアとしてプログラマとして必要不可欠で重要な知識です。最低限のコマンドを知り、複数のコマンドを記述する**拡張子が .bat である** の**利用方法**を知っておく事は Windows と付き合っていく上で避けられ無い事です。( Unix や Linux でも同じです )

コマンドプロンプトは、プログラムを実行できる場所で **cmd.exe** を実行する事によって開きます。コマンドプロンプトを開いたならば、最低でも以下のコマンドが必要になります。

	=> カレントディレクトリのディレクトリとファイルの一覧表示
	=> 他のディレクトリへの移動

そして、コマンドプロンプトが表示しているディレクトリをエクスプローラで開くには と入力します。コマンドプロンプトで一般的に使用できるコマンドは と入力すると見る事ができますが、スクロールしてしまうので全ての内容を確認するには を使用して **more コマンド**をつなげます。

あるいは、 (>) を使用して表示内容をファイルに出力する事ができるので、出力したテキストファイルをエディタで確認します。また、コマンド単位の詳細説明は、引数無しでコマンドを実行すると表示される事もありますが、一般的には引数に を入力します( 英語系のコマンドでは **--help と入力する**事が多いようです )。

一度実行したコマンドは、コマンドプロンプトウインドウを閉じるまで保存されているので、 キーで順に探すか、 キーで一覧をウインドウから選択できます。コマンドプロンプトのウインドウは、普通のウインドウのようにマウスでサイズを変更できますが、デスクトップを全て占有する表示に切り替えるには キーを使用します。

コマンドプロンプトのウインドウで **cmd.exe** を実行すると階層構造の実行になり、一つ前に戻るには を入力します。コマンドプロンプトのウインドウが開いている場合、管理者権限でコマンドプロンプトのウインドウを開く方法は、 キーと キーを押しながらタスクバーのコマンドプロンプトのアイコンをマウスでクリックします。

**エクスプローラのアドレスバー**はコマンドプロンプトと同様に処理可能で、 と入力すると現在表示しているフォルダでコマンドプロンプトが開きます。

その他にも決まった文字列を入力すると特定のフォルダを開きます。例えば、**テンポラリフォルダ**を開くには と入力し、 と入力すると、**ファイルを『送る』**で表示される一覧の内容を登録したフォルダが開きます。

は、Windowsでドライブ装置やストレージその内部を区切ったパーティションなどを識別するために与えられる**一文字のアルファベット**です。

は、Windowsネットワーク上で共有されている様々な資源(ファイルやフォルダ、プリンタなど)の位置を表記する標準的な記法で、 という文字を二つ重ねて記述した後に通常 PC 名が続いて記述されます。

この二つの概念を使って、新しいドライブをシステムに追加する事を『**ネットワークドライブの割り当て**』と言います。その場合フォルダ側にネットワーク上の共有資源の名前である を指定します。

新しいドライブに他のPCのフォルダを割り当てるにはPC側でそのフォルダを する必要があります。その際読み込みのみか更新可能かの設定をフォルダのプロパティのダイアログの共有タブ内の ボタンをクリックしてその先で行います。

設定の結果の名前の確認は、コマンドプロンプトから と入力する事で最も簡単に確認できます。